

Alastair McEwan, Ph.D.,

豪州クイーンズランド大学副総長（研究養成担当） 豪州大学院研究評議会実行委員



今や世界 59 か国 600 校以上の大学で開催されている 3 分間コンペティション（通称 3 MT）を始めた豪州クイーンズランド大学において、研究養成担当として副総長を務める傍ら、豪州大学院研究評議会では委員を務める同氏が、豪州およびクイーンズランド大学における若手研究者の能力開発の方向性や事例などを紹介します。

---

バーミンガム大学において博士号（生化学）を取得。イリノイ大学 Urbana-Champaign において NATO のポスドクフェロー、オックスフォード大学において Royal Society 1983 フェロー。東アングリア大学において講師を 4 年勤めた後、1993 年にクイーンズランド大学に移り、2003 年に教授職に就く。2005 年から 2010 年まで化学分子生物科学研究科長。研究分野は細菌生理学および病理学から酸化還元生物学、宿主病原体相互作用における遷移金属イオンの役割など多岐にわたる。150 以上の論文を発表しており、研究室は現在豪州国立健康医療研究評議会から資金提供されている。

クイーンズランド大学における研究養成担当副総長および大学院総長、そして豪州大学院研究評議会実行委員として、豪州全域にわたる博士研究者養成の変革を先導している。